

# スーパー御庭番の達人たち…⑧

御庭番ユーザー様のハイレベルな仕事ぶりをレポートするこのシリーズ、今回は、なんと！インテリア図面や道路申請図面まで御庭番でつくってしまうという「なんでもかんでも御庭番」なハードユーザー様の登場です。

## 細部までこだわりたいし、工夫するのは楽しい 複雑なアール塀に3日かけたことも

御庭番歴は9年、その前に手描き歴が5年ほどあります。もともと御庭番はアシスタントの女性が使うために導入したんですが、横から見て面白そうだなと思って、で、夜1人でいじってみると結構簡単で、最初からそこそこ描けたんです。それでハマってしまって。御庭番は操作がわかりやすく、初心者でも入りやすいですね。以前の御庭番は、複雑なデザインは描きにくかったですね。なのでアールの塀などは、階段の段々を1段1段細かくカットして、なめらかになるようにつけてつくったりしました。でも「高低差があってらせん状に下ってくるアール塀」みたいな超複雑なものは、そこだけで3日もかかっ

たことがあります(笑)。そこまでして…と思うんですが、やっぱり工夫するのが好きなんでしょね。デザイン的なこだわりもあります。そういうオリジナルをつくる時は、なるべく一気に作業します。「左から18個目の点まで」とか細かく数えながらつくっていますので、中断するとわからなくなってしまからです。今では“変化塀”のバリエーションが増えて、アールの塀もかなり簡単につくれるようになったし、小物や樹木などのアイテムも増えました。しかしやっぱり既存品だけではできない部分もあるし、インテリア図面などへの応用もできたりと、まだまだ工夫する楽しみはあると思いますね。



スーパー御庭番の達人  
(株)ミスターリホームサービス  
チーフアドバイザー  
中津隆博様



### 御庭番のテクニックだけでなく デザインセンスが素晴らしい

当社は彼と私と2人でやっていますが、彼はエクステリア、私は住宅リフォームと完全に分業なんです。エクステリアは非常にセンスを要する分野だと思いますが、彼は御庭番のテクニックだけでなく、デザインセンスも非常に卓越したものを持っている。それが素晴らしいと思いますね。…と、このぐらい持ち上げておけば、またリフォーム図面も描いてくれるかな(笑)。



## その1 達人のテクニック

屋根は1面ずつ勾配の計算をして  
寄せて寄せてつくる

複雑な形状の屋根は自分でつくります。屋根面を1面ずつ別々に勾配の計算をして、角度を合わせ、寄せて寄せて仕上げていきます。



## その2 達人のテクニック

座布団やテーブルなどの小物づくりも

たとえば座布団は円柱をつぶして、テーブルは直径の違う円柱を2段重ねにして。窓の前の目隠しは竹垣を使っています。以前はベンチもなかったので、棧をカットして作りましたが、今はこのベンチもちゃんと入っています。小物のアイテムが増えてラクになりましたね。



## その3 達人のテクニック

ガルバリウム鋼板はアルミの管材を長くして並べて

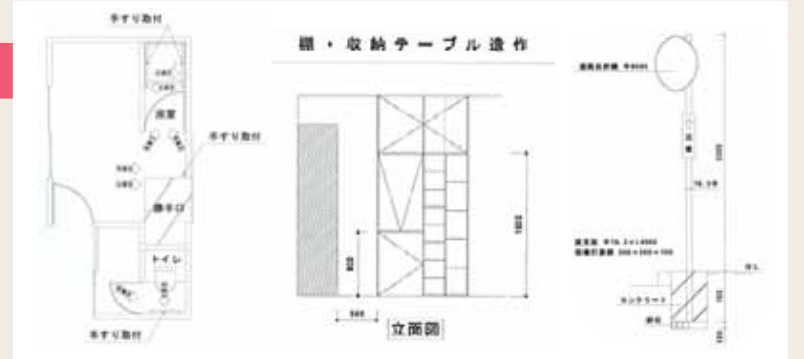
現在はもうあるんですが、以前まだガルバリウム鋼板の外壁が御庭番になかったころは、自分で工夫しました。ガルバリウムのクールなイメージを出すのが難しく、いろいろ考えて、白いアルミの管材を長くしてスラットと並べてつくりました。



## その4 達人のテクニック

平面図・立面図、道路反射鏡  
ええっ、こんなもので御庭番で…?!

リフォーム部門の室内の平面図や立面図も描きます。壁は塀を使って、ドアはアール塀を“厚み1”にして、トイレの曲線はアール塀を3つ組み合わせて。ガードレールの申請図面も、道路反射鏡まで御庭番で描きました。手描きより手間がかかったりするんですが(笑)、工夫するのが面白いんです。



## その5 達人のテクニック

「見せ方」にもこだわって  
影は薄めに、夜モードも提案する

まず、影は薄くして、なるべく日の当たっている南側から見せるようにします。それが一番色を忠実に再現してくれるからです。お客様にとって色のイメージはかなり強く、影が濃いと「色が違う」と言われてしまうことがあります。また、昼間だけでなく夜のイラストも一緒に提案するようにしています。こうすることで生活のイメージが広がるからです。



### 達人の 失敗談

#### タマリユでデータが止まる?

床にタマリユを植え込みすぎて、データが重くなって止まってしまったことがあります。みなさんもタマリユはほどほどに(笑)。いつもで上がり方を想像しながら「このぐらいの数値かな」と計算してつくってるんですが、“パス1”を押ししたら、ラインが一部だけビヨーンと飛び出してるなんてことも(笑)。なので、イメージ通りにできると嬉しいですね。

